

議会だより かつらぎ

議会活性化特別号

Gikai 2012.6 (平成24年)

発行/和歌山県かつらぎ町議会 編集/議会活性化特別委員会

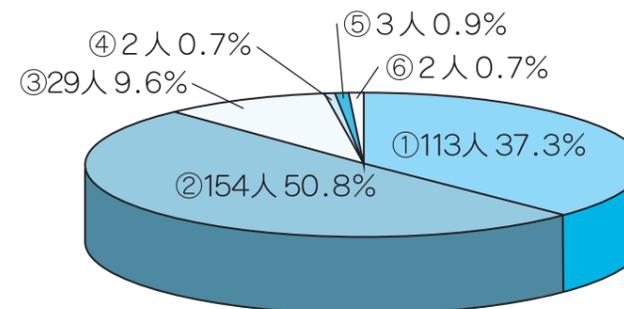


この特別号は、かつらぎ町議会が、昨年10月から取り組んでいる議会改革についてのアンケートの報告です。

主な内容

議会改革に向けてのアンケートの集計 2ページ～
(配布枚数 380枚 回収枚数 303枚)

問8 議会だよりを読んだことがありますか



- ①どの記事も読む
- ②関心のある部分だけ読む
- ③ほとんど読まない
- ④まったく読まない
- ⑤知らない・見たこともない
- ⑥無回答

議会だよりに対する意見から（抽出）
・年4回の定例会質問・回答を総括し、実行できたもの、できなかったもの等の記入をされては。
・議会の回数が少ないからもっと多くの議員の述べた意見や要望を議会だよりに掲載すべきだ。

町民が求める議会像とは

議会は本来二つの使命を持っています。

「町の具体的政策の最終決定」と「町の行財政運営の批判と監視」です。

これらの機能が十分に発揮されてこそ、町民の役に立つ議会となり得ます。

なぜ今、議会活性化に取り組まねばならないのか、町民が求める議会像とは何かなどについても今後議論を重ねていきたいと思ひます。

アンケートに協力頂いた団体

かつらぎ町自治区長会・かつらぎ町商工会青年部・かつらぎ町青年団・かつらぎ町町政モニター・かつらぎ町老人クラブ連合会・かつらぎ町民生児童委員協議会・かつらぎ町女性会議・かつらぎ町青少年育成連絡協議会・かつらぎ町保育所保護者会連絡協議会・かつらぎ町PTA連合会・各公民館・各隣保館

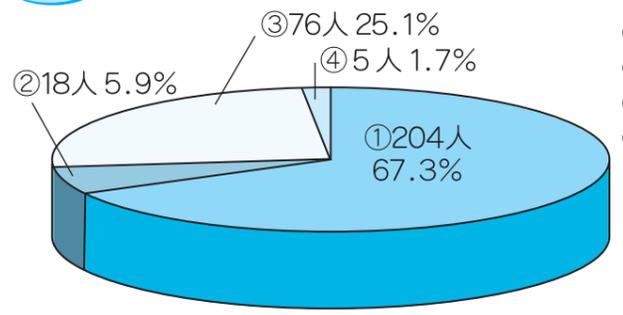
ご協力ありがとうございました。

ご意見募集！

議会活性化に関するご意見・感想・要望をお寄せください。
議会の傍聴してみませんか。傍聴については、事前申込みの必要はありませんので、お気軽にお越しください。日程については、下記へお問い合わせください。

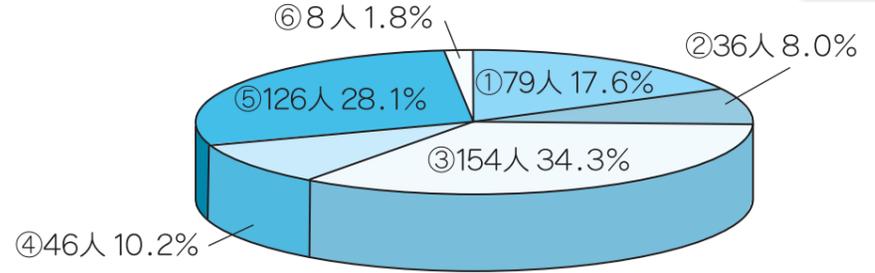
議会活性化に向けて町民の声を聞く

問6 町議会の改革が必要か



改革が必要 約70%

問7 町議会が改革に取り組む課題は何か (複数回答可)

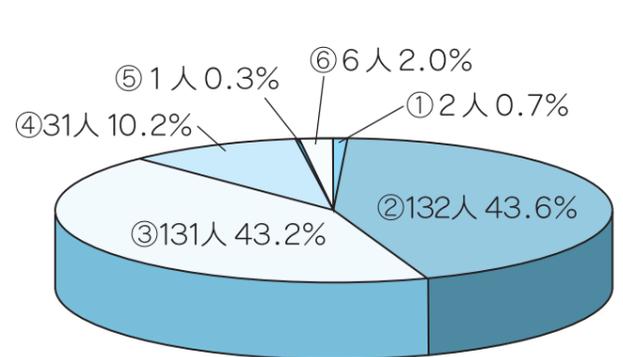


- ①議会の審議機能の向上
- ②休日や夜間など傍聴しやすい議会
- ③住民の声が反映できる方法の検討
- ④議会広報など情報提供の充実
- ⑤議員数、報酬などの検討
- ⑥その他

その他と答えた理由から (抽出)

- ・ 現在、議員数では仕事がまわらないのか？まわるのか？一般町民にはわからない。そこでまったく今の人数では不足であると言うのであれば、増やすのを全面にみんなに知らせるべきだと思う。
- ・ 議員の方々に年配の人が多すぎると思う。若い人でもなりたいと思えるような環境づくりが必要だと思う。
- ・ 議員数、報酬を削減すべきだ。

問4 町議会の現状に満足しているか



満足していない 約55%

- ①大いに満足している
- ②ある程度満足している
- ③あまり満足していない
- ④全く満足していない
- ⑤その他
- ⑥無回答

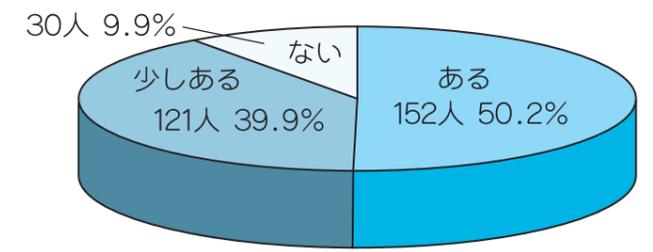
問5 問4で「あまり満足していない」または「全く満足していない」と答えたその理由について (複数回答可)

①住民の声を行政に届けていない	86人	32.2%
②議会活動が住民に伝わらない	109人	40.8%
③行政のチェック機能を果たしていない	65人	24.4%
④その他	7人	2.6%
合計	267人	100%

その他と答えた理由から (抽出)

- ・ 議員は住民の代弁者であるべき立場であるが、あまり住民の意見を聞く場に積極的に出てきてないように思われる。もっと行政が進むように職員に叱咤激励すべきだ。

問1 町議会に関心があるか



関心度 約90%

問2 問1で「ある」または「少しある」と答えたその理由について (複数回答可)

①住民の代表である重要な会議	216人	47.4%
②町の予算や決算に関心がある	116人	25.4%
③一般質問に関心がある	114人	25.0%
④その他	10人	2.2%
合計	456人	100%

その他と答えた理由から (抽出)

- ・ 自分が選んだ議員さんがどれだけ活躍しているか知りたい。
- ・ 行政のチェック機能を果たせるのは議会の力が大きいから。
- ・ 将来の町づくりを考えていくうえで、議会の責任は重大であるから。

問3 問1で「ない」と答えたその理由について (複数回答可)

①いつ開催されているかわからない	18人	37.5%
②議会の内容がわからない	19人	39.6%
③直接生活に関係ない	7人	14.6%
④その他	4人	8.3%
合計	48人	100%

議会改革に関するご意見 (アンケートより抽出)

●若い世代の議員を増やして欲しい。ある程度の生活が保障される報酬額への見直し(他市の議員報酬との差がありすぎると思う)。人員削減や報酬削減ばかりでは、議員活動に影響が出ることも考えられる。活動に専念できる環境も大切ではないでしょうか。

●各々価値観が異なる議員が、ものごとを判断する際に、「住民の視点」を最優先することで同一判断基準をもつことにより、同じ方向に全員一致で住民のために何をなすべきかに全力投球していただきたい。

●かつらぎ町の地域状況を鑑みれば、(人口も含めて)議員定数は10~12人程度であるべきだ。

●議会というところ、とても敷居が高い気がします。もっと住民との距離が近くなればという思いがあります。

●議員数には問題はないと思うが、全体的に議員の年齢が高過ぎると感じるのも、もっと若者にかつらぎ町の議員、町長になってこの町を変えたいと思わせる魅力ある職業にしなければと思う。

●かつらぎ町をどんな町に創造しようとしているのか、町民には、単年度予算や事業を知るだけでは見えない。建設的で展望(中長期的)のある議員提案など積極的な本会議に於いて議論されることを望む。

●具体的な改革案の情報の提供をお願いいたします。例えば、短期的なもの(1年以内)に実行可能なもの(3年以内)に実行可能なもの(5年以内)に実現願います。

●全議員とはいわれないがサラリーマン議員になっていくのでは。

●議員提案の条例を議会として検討してみる。「農業商工業振興条例」「食育を進める条例」など、住民に身近なテーマで基本条例をつくれれば、活性化につながるのではないかと考えます。

●議会が主催となって町政の課題について住民みんなで考える場を設定する。「地震に備える」「学校の耐震化」などをテーマにシンポジウムや討論集会を、議員・行政・住民・有識者で開催してみるなど、実現すれば活性化の糸口になるのではないかと考えます。

●住民の声が反映できるように、もっと地域住民とのコミュニケーションをもつ必要がある。ミニ集会や対話集会などを開いて議会の報告や住民の声を聞く機会をもつことが大事である。

●年4回の会期で審議できないことがあればその事件が解決できるまで毎日でも審議することが必要である。

●人口を増やす工夫。常会を開いたとき、議員さんに今何をしているのか説明してほしい。

●地域を知る努力をしている議員さんであってほしい。議員も町職員ももっと地域の行事、組織にかかわる(参加する)ことが必要と思う。他人事のようにしている人もいるのでは？

●かつらぎ町の今後10年先、20年先のビジョンを明確に持っていない様に感じる。

●議会がいつ開催されて、どんな内容でしているか、もっとわかりやすく町民に伝えられるよう工夫して欲しい。

●若い人達が住みよい町づくりをしてほしい。

●町民の声を行政に言い放しではダメ。行政が動くということは我々の税金が使われます。町民のためには、いかに少ない資金でいかに町民のためになるか、行政まかせにするんじやなしに、議員さんも共々考え、動いてもらいたい。それが行政の仕事とされているようでは改革は難しいと思います。